

## 研究の名称：天草地域における乳幼児健康診査の実態調査

(熊本大学大学院生命科学研究部倫理審査委員会：承認番号 1461 号)

### 【目的】

これまで三歳児の乳幼児健康診査の視覚検診に従事し、健診の重要性を報告してきました。しかし私たち視能訓練士が健診業務を行ったことにより、斜視や弱視の検出率がどのように変化したかを調査した報告はまだありません。また、三歳児乳幼児健康診査で要精密と判断された児が、その後医療機関を受診しているか、また、要精密と判断された結果と医療機関での診断がどの程度正確性があったか検査結果相互の関係性についても調査します。

### 【対象と方法】

2009年4月～2016年12月までに天草地域で乳幼児健康診査視覚検診を受診した児が対象です。市役所にて担当職員が個人名、性別、居住地域、疾患分類、健診の結果を連結不可能匿名化に加工しますのでプライバシーは保たれます。収集された情報は、研究終了後10年間、熊本大学大学院公衆衛生学分野にて施錠可能な場所で保管し、その後研究責任者がコンピューター内の健診の結果は専用ソフトを用いて完全抹消し、紙媒体資料はシュレッダーにて裁断し廃棄します。幼児健康診査視覚検診に視能訓練士が携わったかどうかで眼疾患の検出率及び精密検診児の医療機関受診状況の統計解析を行います。

### 【医学的・社会的意義】

本研究で得られた健診の結果から統計解析を行い、早期発見・早期治療・予防することに貢献できているかを明らかにします。乳幼児健康診査視覚検診に従事している視能訓練士は全国的にも少なく、他の自治体にも導入されることを促すことが有用となる可能性があり、弱視や斜視で将来的にハンディキャップを背負う児を一人でも減らすことが期待できます。これらの結果は論文及び学会報告等によって公表する予定です。

### 【本研究に健診の結果を提供したくない児またはその家族の方について】

研究対象者の中で、自らの健診の結果を本研究に使用してほしくないとお考えの方は、拒否することが可能です。下記連絡先までご連絡ください。また、結果の集計中での偶発的所見については匿名化されているもの(特定の個人を識別することが出来ないものであって、対応表が作成されていないもの)を用いるためフィードバックは行わないこととします。対象者から健診の結果の開示を求められた際は開示いたしません。

### 【利益相反について】

本研究は、熊本大学大学院生命科学研究部公衆衛生学分野の分野校費によって行われる予定です。本学における全研究者は費用の出資者とは無関係に公正に行い、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

### 【研究責任者】

熊本大学大学院医学教育部修士課程医科学専攻公衆衛生学分野： 燕 龍大

電話：096-373-5112

メール：179r5206(アットマーク)st.kumamoto-u.ac.jp